



明治四十四年十月 警務 主管 政務局

附屬書類 秘受第3861號

湖北革命騒乱、南滿洲ニ及ぶる影響
ニ関し別紙、通し通報有之候條以段
及廻送候也

明治四十四年十一月二日

拓殖局第二部長 江木 聖英



因前

外務省政務局長倉知鐵吉殿

拓殖局

秘 寫

民高警收第三三三九号

清國革命党及乱ニ關スル地方ノ状況ニ
付別紙、如キ報告有之候條此段及報
告矣也

明治四十四年十月廿四日

関東都督府民政長官白仁武

拓殖局總裁元田肇殿

拓殖局

明治四十四年十月十八日付 無に警務署長
報告

革命争乱ニ関スル地方状況 第四報
其後ニ於ケル状況左ノ如シ

一 第三報告ノ如ク銀行取付形勢ハ既ニ十日
ニ現ハレタルヲ以テ東三省官銀號ハ奉天ニ電
報セル結果京奉線ニ一昨午六時午後七時一函
六百元入百三十七函總計八萬二千二百元河北驛
ニ到着セリト全銀行ハ毎日午前八時ヨリ午
後五時迄何時ミテ兌換券ノ引換ニ應スルヨリ
以前ニ公示ヲ掲ケ時ニ其実カアルヲ示レク心ノ
安静ミカメツアリ

一 大清銀行ハ昨夕迄ニ三百三十万兩到着スル

ト聲言セシル銀行ノ信用維持ト人心鎮撫ノ
為誇大ニ吹聴セシモノ如シ昨午午後一時十五分
迄口着ノ南滿鐵道ニ一函五千元入り四
十函計二十萬元ノ小銀貨到着セリ
一 昨日各銀行ハ取付者ノ状況ハ交通銀行
官銀號ノ以前甚タ長安多クタル交々大信銀行
ハ後忽ち付者多ク市ニ四五十元ノ引換者能ク
ルカ如シ而シテ此等取付者ハ重々中等以下ノ商
人ニ多ク其セシハ唯一枚ノ二十錢票ハ五十錢票一圓
票ヲ以テ喧々囂々トシテ引換ヲ求ムルモノアリ
午後一更那人アリテ倉皇トシテ大清銀行ニ馳
セリテ其聲行ハスル此等引換ヲ求ムル人
リテ其聲行ハスル此等引換ヲ求ムル人

徐、其請求額、同一ハ僅、ニ希五十錢、紙幣ヲ
 出シタルニ皆相見テ失失、ヲ禁セザリシ
 昨日大抵銀行、取付高ハ約八割、交通官銀
 庫、今ハ未タ明瞭ナラス
 一、交通官銀、暴落、ヲ来スヤ貴地ノ高利中重
 事ノ地位ニ在ル、其產家西、或ハ、兵庫銀、西
 京、口東盛玉、支配人、元春、ハ、多ク、損失、蒙
 リ、到底、破産、免レ難キ、ニ憂慮、ニ、第一、昨
 金、銀、五個、ヲ、吞下、ト、自殺、ノ、計、ニ、生、年、ニ、異
 状、ヲ、目下、ハ、療、中、ナリ
 一、昨日、商務總會、ニ、招、ケル、道、達、刻、刻、ハ、情、説、ハ、同
 面、報告、ノ、通、ナリ、カ、其、際、商務總會、係、理、藩
 達、球、ノ、情、説、要、領、ヲ、聞、ク、當、下、ノ、救、度、ノ、兵、災

之

一、隨、ヒ、シ、モ、事、ナリ、所、以、ハ、當、口、信、民、カ、先、ク、鎮、靜
 一、態度、ヲ、持、テ、シ、カ、故、ナリ、道、回、革命、ノ、際、機、關、同、心
 一、徒、ヲ、誑、シ、ハ、ニ、乘、セ、ウ、レ、市、場、ノ、手、和、ハ、破、産、ノ、機、ヲ、與、
 一、地、商、界、ノ、手、和、ハ、破、産、ノ、機、ヲ、與、
 一、總、邦、交通銀行、胡、總、邦、文、々、太、ク、ナ、リ、ハ、鎮、靜
 一、態度、ヲ、持、セ、シ、ト、ナ、リ、勸、告、レ、所、難、ニ、シ、テ、依、テ、手、和、ハ、
 一、應、ス、ハ、キ、ハ、手、和、金、々、カ、ナ、リ、カ、言、ハ、ト
 一、昨、日、人、心、飢、耗、ノ、餘、告、費、及、ヒ、ハ、言、ハ、ト
 一、ハ、尤、ノ、如、シ

為、割、切、曉、諭、事、照、得、當、埠、本、日、銀、價、每、兩
 銀、一、錢、僅、換、ハ、洋、五、九、元、申、銀、匯、水、足、銀、
 三、百、三、十、餘、兩、而、未、報、各、票、亦、日、見、膨、脹、似
 此、情、形、殊、怪、駭、異、推、原、其、故、皆、因、郵、局、之、變

論略第一興人人心好奸商彼有音高振行中以
致能根外斯吃常查武昌龍虎山守業淫依
送重六長刺大兵衛軍司不難魁而底定且
東有非邪逆送目下地面甚為安謐更屬
無庸驚擾倘為謠言所惑起金塘十惡壞
身該該人後急任提設想陰移各商會
同守界外商並防軍裝嚴密查拿造言
生事分至應則切曉諭人人心而能市面
為此示所再團中商民人等必中外同體
公議言所難信所有報界各報應即從
速照錄不得藉端此送中樞所以談公益
自市之役倘再有一種奸商仍將行市物價
故意高抬以及欺布流言之徒定由查拿

後嚴密辦法不容寬其各票等切切將市
面也應向日報社刊看也電報使大討伐
軍一部力敵相接近スルニ至ルヤ官兵
スレニ敵軍、園内入、敵を中上トレノ之ヲ迎ヘ
為ノ討伐軍、自校ノミ、對還、多ク分共、又、
角、ヒ、モ、ノ、ナ、ント、切、ラ、
ニ、華、軍、
載、
市、
四、
後、
令、
遠、

REEL No. 1-0883

0327

REEL No. 1-0883

0328

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

REEL No. 1-0883

0329

一、諸國人間に於ける製造品ハ其素來粟米麥粉
大小麦に對して防蝕令ヲ施行スレト風評也
リ畢竟其現ニ思ハサルレ
極及報告也

REEL No. 1-0883

0330

REEL No. 1-0883

0331

REEL No. 1-0883

0332

Handwritten text, likely a list or index, covering the majority of the page. The text is faint and mostly illegible due to the quality of the scan.

REEL No. 1-0883

0333

REEL No. 1-0883

0334

REEL No. 1-0883

0335

我

Handwritten text in vertical columns, likely a list or record, enclosed in a rectangular border.

REEL No. 1-0883

0336

REEL No. 1-0883

0338

REEL No. 1-0883

0339

1/10
1/11
1/12
1/13
1/14
1/15
1/16
1/17
1/18
1/19
1/20
1/21
1/22
1/23
1/24
1/25
1/26
1/27
1/28
1/29
1/30
1/31
1/32
1/33
1/34
1/35
1/36
1/37
1/38
1/39
1/40
1/41
1/42
1/43
1/44
1/45
1/46
1/47
1/48
1/49
1/50
1/51
1/52
1/53
1/54
1/55
1/56
1/57
1/58
1/59
1/60
1/61
1/62
1/63
1/64
1/65
1/66
1/67
1/68
1/69
1/70
1/71
1/72
1/73
1/74
1/75
1/76
1/77
1/78
1/79
1/80
1/81
1/82
1/83
1/84
1/85
1/86
1/87
1/88
1/89
1/90
1/91
1/92
1/93
1/94
1/95
1/96
1/97
1/98
1/99
1/100

REEL No. 1-0883

0340

REEL No. 1-0883

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
<http://www.jacar.go.jp/>

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

REEL No. 1-0883

0342

Handwritten text in Japanese, likely a list or index, with vertical lines separating columns. The text is faint and difficult to read.

REEL No. 1-0883

0343

明治四拾四年十月二日

明治四拾四年十月二日 接受

憲政事務局

秘第号外

秘受第3576

別紙而考迄及而送致也

明治四拾四年十月二日

拓殖局總裁 元田肇

外務大臣子爵内田康哉殿

拓殖局

急

革命党ノ或モ昨秋大ニシテ秘密會談ヲ催シタル
後彼等ハ軍艦及武器ノ運送ヲ密ニ行ハルニ
日本ノ中ニテ黨派シテ日本ノ情勢ヲ知ラズテ
レリ。茲ニ俄クハ軍艦ノ移動ヲ察スルニ及ビ
是レリ又他方ハ軍艦ノ移動ヲ察スルニ及ビ
西屋ニ中メリ而テ國ヲミルニ及ビ

拓殖局

湖北革命騷亂、南滿洲ニ及スル影
 響ニ関シ別紙ノ通り通報有之候條此
 段及廻送候也
 明治四十四年十一月二日
 拓殖局第二部長江本 翼
 外務省政務局長倉知鐵吉 殿
 郵 局

REEL No. 1-0883

0345



秘

民高終收第三三九條
請國華東黨友仇三葉スル地方ノ
状況ニ付別紙ノ如キ也
此及報告受也
報告十月二日條

昭和四年十月廿五日
陸軍部附設武官館
武

拓殖局總裁元田 稔
啟

拓殖局

一、此項...
 二、...
 三、...
 四、...
 五、...
 六、...
 七、...
 八、...
 九、...
 十、...
 十一、...
 十二、...
 十三、...
 十四、...
 十五、...
 十六、...
 十七、...
 十八、...
 十九、...
 二十、...
 二十一、...
 二十二、...
 二十三、...
 二十四、...
 二十五、...
 二十六、...
 二十七、...
 二十八、...
 二十九、...
 三十、...
 三十一、...
 三十二、...
 三十三、...
 三十四、...
 三十五、...
 三十六、...
 三十七、...
 三十八、...
 三十九、...
 四十、...
 四十一、...
 四十二、...
 四十三、...
 四十四、...
 四十五、...
 四十六、...
 四十七、...
 四十八、...
 四十九、...
 五十、...
 五十一、...
 五十二、...
 五十三、...
 五十四、...
 五十五、...
 五十六、...
 五十七、...
 五十八、...
 五十九、...
 六十、...
 六十一、...
 六十二、...
 六十三、...
 六十四、...
 六十五、...
 六十六、...
 六十七、...
 六十八、...
 六十九、...
 七十、...
 七十一、...
 七十二、...
 七十三、...
 七十四、...
 七十五、...
 七十六、...
 七十七、...
 七十八、...
 七十九、...
 八十、...
 八十一、...
 八十二、...
 八十三、...
 八十四、...
 八十五、...
 八十六、...
 八十七、...
 八十八、...
 八十九、...
 九十、...
 九十一、...
 九十二、...
 九十三、...
 九十四、...
 九十五、...
 九十六、...
 九十七、...
 九十八、...
 九十九、...
 一百、...

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is dense and covers the central portion of the page. It appears to be a historical document or a collection of notes.

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is dense and covers the central portion of the page. A small, illegible stamp or mark is visible near the top center of the text area.

指馬領帝期如綸一及左未
作空也

REEL No. 1-0883

0350

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is dense and covers the majority of the page, likely representing a historical document or a collection of letters. The characters are fluid and interconnected, typical of the cursive style used by scholars or officials in Edo-period Japan.

Handwritten Japanese text, likely a list or index, written in cursive (sōsho) style. The text is organized into columns and rows, with some characters appearing to be part of a larger document or a specific record. The handwriting is dense and characteristic of historical Japanese documents.

REEL No. 1-0883

0352

Handwritten Japanese text, likely a historical document or manuscript, written in cursive (sōsho) style. The text is arranged in two columns, with the right column being more legible than the left. The right column contains several lines of text, including what appears to be a date or year at the bottom: "明治二十六年" (Meiji 26, 1893). The left column is more obscured and difficult to read due to the cursive style and fading.

REEL No. 1-0883

0353

明治四十二年十月廿日付鉄嶺整勢書長
報告

右述動乱ニ界スル件
其後凶徒ヲ逐ケル事項在記ノ通一有レ其
事ナリ及報告セヤ

一、鐵嶺縣下ニ於ケル漢人等ハ方面ノ事變ヲ
以テモラ日ハ人ノ煽動ニ基因スト揣摩ノ情
測ル者多々アリ之レ漢官憲ハ一般民ニ對
シ排日思想ヲ蓄及セシメントスル奸人あり
出テタル結果ニアラスヤト思料ス

二、鐵嶺縣在る本邦人中ノ有力者權太氏等

長早間陳列館長佐々江三井主任伊藤正
金銀以主仕事廣達車新報支社主任其ノ
他重ナル紳士紳商等ノ姓名相謀リテ革命
ノ件ニ界スル情報ヲ迅速ニ知ラント欲シテ一
小團體ヲ組織シ大連ニ到着シタルモ報ハ
直ニ之ヲ当地ニ行方本日も漢ヲ以テ大連連
車新報社ニ交渉ヲ了シタリ右ハ全々当地
ノ經濟界後上ニ及ボス影響ヲ觀測スル
所謂利己主義ニおケタルモノニシテ敢テ害ナ
キモノト思料スシトモ警覺上ヤハ行方
凶徒ヲ要ス
三、鐵嶺縣以テニ根據ヲ有スル馬賊頭目等ハ頻
リニ事變ノ成リ行キヲ觀望シテ時機ヲ求

セハ何時ナリトモ火蓋リ却ラント平傍中ナル
風聞アリニ果シテ事実ナルヤ否ヤ
確實ナラカルモ此等事近附
化ス

REEL No. 1-0883

0357

明治四十二年十月三日付大石松野署署長
報告

革命軍の暴行に就ての状況

今國内は、革命軍の暴行に傳へられ、人心は、
動搖し、我幣の信用は、墜し、殆ど不通なり。其
トナリ、蓋平、城内外は、銀の、お張り、如き、
取付、ケ、メ、未だ、其、法、人、門、前、市、ラ、シ、武
装、巡邏、之、如、或、取、締、ヲ、為、し、居、し、左、銀、
ハ、本、月、十、八、日、迄、大、量、銀、ヲ、ヨ、リ、銀、十、萬、元、
突、入、シ、タ、リ、全、城、内、交、通、銀、ハ、お、張、店、ハ、本、月
十、八、日、限、リ、閉、店、シ、タ、リ、ナ、リ、店、ニ、引、揚、ケ、タ、ル、
以、テ、同、店、と、取、引、ノ、界、係、ヲ、有、ス、ル、モ、ハ、粉、塵、ノ、

急、ナ、ラ、シ、居、リ、又、全、地、ニ、松、ケ、ル、ニ、立、タ、ル、商
店、ハ、奉、天、軍、に、其、他、ト、電、信、ヲ、交、換、シ、商、標
ノ、整、齊、ヲ、努、メ、ツ、ツ、ア、リ、而、シ、テ、一、方、法、必、官
憲、ハ、其、ラ、民、心、ヲ、結、縛、シ、勉、メ、奉、天、民、政、使、
及、蓋、平、を、縣、ハ、本、月、十、八、日、付、蓋、平、縣、署、
長、公、示、ハ、全、十、八、日、付、以、テ、時、日、ニ、示、ス、ル、告、
ヲ、發、シ、蓋、平、城、各、城、門、及、担、荷、ノ、通、路、ニ、
貼、付、シ、周、知、ヲ、計、リ、ツ、アル、モ、人、民、ハ、難、ニ、
信、ヲ、措、カ、サ、ル、モ、一、如、シ、而、シ、テ、民、政、使、ハ、其、故、
告、論、ハ、お、張、店、ノ、通、シ、テ、他、ノ、告、論、ハ、
味、大、同、小、異、ナ、リ、而、シ、テ、海、陸、々、つ、及、大、石、
ニ、於、テ、同、様、奉、天、軍、の、真、偽、ヲ、鑑、シ、タ、リ、各、地
カ、モ、一、ノ、人、心、動、搖、ス、ル、状、況、可、シ、
情、事、官、憲、

ハ
整
所
敷
置
ニ
付
シ
其
年
付
及
其
後
年
付
ノ
事
ハ

REEL No. 1-0883

0359

欽命奉天民政使張
照得湖北匪亂禍在武漢兩省他省時有
云電往來地方一律安靖昨因大甲公報
外輕信謠言意圖煽惑業由司局
干涉惟盛宣懷時報兩省外所載
京長沙安某之開封濟南各省之說概
屬子虛乃意換戶傳送現已由交涉司
照會日總領事將該報嚴加取締凡我
紳商士庶毋得輕信該報謠言切切特
示遵

宣統三年八月二十六日
左海通

明治三十二年十月廿九日付藤原氏改署長報告
革命党関係者三井三井

厚紙箱山田縣政府印表出所字跡見
三五三番地

安達隆成

当三十八年

右名義須臾出所天后宮内展任支那人王化
成、通洋トナリ全人ト昔ニ本年二月末安達
隆成、事任ノ下、本人ハ彼ニテ革命党
党ニ縁故ヲ有セシ起ニ本年九月月中旬王
化、成方ヲ去ル臨ニ該党ニ投スル旨ヲ語り上
向ケル所ニ於テモ、ニ有シテ後踪跡不明

ナルモ目下注意中
右及指針ノ

明治三十四年十月二十日付安東事變官報
予て地方暴徒蜂起ニ乗スル件
予て地方暴徒蜂起後日甚人ニシテ革命党
ニ気脈ヲ通スル者有可如何ハ嚴重視
中ノ予ハ其一人側ニ在リハ同必官界中革命
党臭味ノ者伏在スルトノ説ヲナス者ナキニアラハ
ルモ畢竟一ノ畫像ニ過中スルニ目下ノ予ハ是
等嫌疑者ト通ハル者スラ散見セス又日本人側
ニ在リハ特ニ注意スル要スルハ禁田麟 内ノ
大久保豊彦ノ二名ナリ同人予ハ去ル三十三
年予て地方ヲ徘徊し當時清國革命党
派員ト行動ヲ共ニセシコトアリシト云フ而カモ

昨ノ言動ヲ依ルニ其モ今個ノ事件ニ
關係ナキモノ、如何シモ引續キ嚴密視
察中ニ有シシテ而シテ談ヲ付共
生以テ当地清國革命党中ノ有識者ハ一級
ニ懸懼ヲモアリテ前途ノ年々ハ悲
觀シ居ルモノ、如何シテ邦人ノ在る者ハ
ニ比シ異状ヲ通メス要スルニ一級平部
ニシテ何ノ變調ヲ通メス否概況及概
中

昭陽四軍十月平不付長春事務
昭告

廣告

情亦如之乎地方狀況

一、其後此地方ノ状況ハ別ニ斐リタルコトナリ一時動
 乱ノ影響喜カ俄ニ此地方ニ波及スルコトナキヤラ澤ラ
 自憂慮シタルニ至リ最ニ此ニハ寧ロ稍人ノ心鎮
 靜シタルノ傾アリテ一般ノ志取行ニハ格外影
 響ナキカ如シ然レトモ吉林官帖ノ市場ハ依然
 下流ニ居リテ平素ハ小洋錢ヲ封シ三吊三
 百五十文乃至三吊四百文ノお札ナレバ今ハ
 三吊五百文ノお札トナリ且ツ其取行ハ
 甚少額ニシテ大取行ハ行ハレサレバ状況ナリ

二、為他道台衙門に於て、第一回海軍、衛安ありて、
官軍統利あり、台々又袁世凱ハ湖廣總督就
任に決定し、今此書より電報あり、今此書より
夜東表あり。

三軍三縣出兵ニ抗テハ既ニ一部徒失テ中々
杯ノ風説ヲ有ルモ事実事ヲ生費シ
タニ形跡ナシモ内弟三箇大隊ハ一あるヤ
ニ事共及ニテ決シタニ抗ヲ以テ城内知人ノ許ニ
テ旅費ノ借利ヲ申込タニハ將校モアリタ
ル由聞込タリ又道台ハ約ニ三千ノ兵ナリ
中布下セシムヤモ計リ難キモノ有テ安気
長ニ内詰シタリ第三縣曹師團長ハ母死
ニ為テ北島ニ帰者中ノ要今四ノ事變存玉

急帰長るコトナリ不白帰長スハト云フモ
アリ

四、若くは革命軍党ノ入込モルモノナキハ情面
側ニ於テ極カ密偵ニ努メ居ルモ事々一人モ其
嫌疑者トシテ格差シムンモノナレ又道台衙門
及巡査局等局多クモ其地ニ事々革命軍党ノ
侵入シムン形跡ナシト云ヒ居レリ
五、若くは三鎮樞密以下兵士ニモ其地ニ事々
機下士等中ニ革命軍党ノ關係アルモノア
ルハレトノ風説アルモ道台衙門及巡査局
等々於テハ軍隊内ノ事情ハ特別不明ノ
モノトシテ一般ノ密偵ニ全カテ任キ居ルカ
ル

五、若くは三鎮樞密以下兵士ニモ其地ニ事々
書ノ往復ハ許サレハ合ハ外禁シ居ルカ如キ
モ事々ハ勵行セシムル秘密ニ信書ヲ隊
外ノ知人ト往復シツアルカ如シ尤モ兵士
ノ外ハ公用以外ハ之ヲ禁シ絶ク勵行シ
居レリ

六、若くは地土氏等々ハ私妻ニ突ツテ記事
ヲ一般ニ周知セシメサル様ニ公憲ノ方針ニテ
昨々日一時是等ハ停止シテ年シタリト云フ
モ本口ノ如キハ度々々頒布セス
右及休告等

秘 寫

民高松經牧第三三三號
世國華除虎及亂之界スル地方
狀此之付別紙、如キ報告に有
案此致及般出口候也
昭和四年十月廿二日
廣東都督府民政長官白仁武
拓殖局總裁元田肇殿

拓殖局

明治四十四年十月廿三日付
革命軍代の軍ス地方状況
其後ノ状況

一頃目概改王東三有依督之動シケ急連之銀貨
ヲ鑄造シテ以テ各銀貨ノ配給シ取付ノ厄難ヲ
救済スヘト雷余セリト老説アリ
一清一掃九月一(十月二十二)ハ過去三月間ニ取リ
セリ過ハ銀貨決算日ニ至リ折柄時局ノ際ニ
シテ多少ノ変動ヲ見ルヘト認メタル審視案ニ
廣其面況在

今四時局ノ為高地経済界ノ素然ハ
年東盛和破産事件ノ事ノ出来事ニ刻
下ノ事情到底確實ニ硬貨ノ引替不

可成ナル以テ道々ノ於テ之ニ干渉ス目
然成行ノ任セタル以テ素外事情ノ以算リ
了レ銀貨及市面ニ破産者ノ出スルテ
事情ノ上ト而シテ現貨ノ硬貨ヲ以テ大義
スルニ及ラザル理由ハ後述通り銀貨
近々ハ過ハ銀貨ノ出スル時先
勤十洋錢八十一元位ノ廣ニ上ル例
毎期ノ引替率ト成リ居時局ノ
支テ昨ハ十洋錢五拾六十五元八
十下案ナル以テ今若シ硬貨ノ現銀
ク動リセハ最初十洋錢八十五元
引タル過ハ銀貨所有者ハ一拾五
ニシテ破産者概出スル一廣アルト
股ニ便入

貸ヲ手放スヲ忌ミタル結果ニ因リクルモノニシテ之
 カ爲全日ノ過戸銀ノ取引ハ固有價即チ五
 十三兩五匁ニ對シテ切換お標ハ五十五兩四匁ニ騰
 貴ヤリ此ノお標コソ六期ニテ月間ノ取替引九標
 トナルモノニシテ真價ニ比レ此ノ一兩九匁差額
 フ標ニテ印銀子ト謂フ此ノ印銀子ハ硬貨
 フ以テ仕掛ニセサルモノニ對スル利子トモ見ル
 コトヲ得ヘレ
 凡ソ印銀子ノ多少ハ經濟界ノバロートル
 レテ即チ商況之盛衰ヲ示スルモノトキハ印銀子
 (差額)大ナリ及之商況以テ標取引後復
 ナルトキハ印銀子(差額)少キハ何トモハ商況流
 緩ニ對シ盛ニトキハ日進硬貨ノ需用劇キ
 ン
 以テ去系期ニ於テ取銀ノ時ハ層々自
 過好銀ノ振置キ仕掛者多シ而シテ仕掛
 ヒタル過好銀ハ三月間概シテ六十五兩ニ仕掛
 ヒトナルヲ以テ一種ノ利子トモ見ルヘキ印銀子
 ハ幣セ高カラスナルヲ得サルナリ在レト高
 人ハ一方商董ノ爲得ル利益多キヲ以テ
 更ニ痛サリ感々久経痛界ヲ極メテ順
 個ノ付ナリトス及之商況不振取引後
 慢ナルトキハ硬貨比較的希中ニ停滯
 スルコトナリ然ル過好銀ノ需用ハ感
 換率中率低下スルヲ以テ硬貨ハ過好銀
 ノ引替ニ充當セシ過好銀ヲ以テ切換
 へ仕掛スル者少ナリ印銀子ハ幣セ低下

陽本署務署
光緒十四年十月廿二日付
長服告

長 3 4 13

革命軍之罪之甚也、然則動靜、
南清革命軍之案、其後、
地方、情勢、左記、通、
及、狼、告、
城内、
ク、云、
此、
革命軍、
前、
南、
心、

一、屋敷上打撃ノ最夫至因ハ找部不信
用及新穀有倚後慢サリ找部ハ一
取信用ナク銀貸ハト交換スルハ善
一、割由外交換料ヲ要ス殊ニ建
江省找部ハ高地ニ銀ヲ居ハ長所
ナキ為メ取子ノ嫌ニ申ハ全ク取
サレ同アリト申サレ取部ハ月々
お荷少キ時取部ナルニ拍
格ノ下居サレ此出穀ヲ以テ
リ為メ高取利ハ先ナク金融通止
ニナレリ

一、徳島官憲(知州)ハ本月十九日自官
(蔵金)ニ對シ秘密通牒ヲ發シタリ

